

議長就任から半年が過ぎて

令和4年6月に就任以降、約三年途絶えていた各種の行事や懇談会懇親会が、復活し参加させて頂いております。特に区立小中学校の十年単位の周年行事は、例年ですと地域を巻き込んでの、一大イベントになるところ、このコロナ禍による影響で、縮小傾向のため本当に来賓の参加を始め、人数的には寂しい会になっております。主催者側が教育委員会の指導の下での開催ですから、致し方ない事は充分理解しておりますが、何とか子供たち(在校生)をもう少し、参加させて上げられないものかと思う所であります。何故ならば、十年に一度の開催ですから、圧倒的多数の子供たちは、周年に立ち会えないからです。

みどりバス 保谷～光が丘病院ルート

10月11日に再編された、みどりバス保谷ルート、旧ルート(保谷駅南口)発着にあった3停留所の廃止という厳しい状況の下、新ルート(保谷駅北口)発着の約2月の状況が解りましたので、報告致します。何と旧ルートより、割増の一日当たり200人増、月換算にすると、3万人のお客様にご利用いただきました。この傾向が続く事を予想されますので、改善方(バス停の位置等)については勿論ですが、更なる高みを目指して、努力して参ります。



▲新設バス停



新年を迎えて



練馬区議会 議長
藤井 たかし

常任委員会 都市整備委員会 委員

特別委員会 交通対策等特別委員会 委員

各種委員会 都市計画審議会 委員

ご相談は… 藤井たかし 事務所

〒178-0065 練馬区西大泉 3-29-20

Tel : 5905-0533 Tel・Fax : 5947-3330

議員から発出する言葉について

安倍元総理の追悼演説を、野田元総理が国会においてされました。私は、党や立場が異なりますが、大変有難い演説で感銘を覚えた次第です。



その演説の中で特に聞き入った所が以下の箇所であります。

『最後に議員各位に訴えます。政治家の握るマイクは、単なる言葉を通す道具ではありません。人々の暮らしや命がかかっています。真摯な言葉で、力に怯まず、臆さず、人前に立つ勇気を持ち続ける、民主主義の基である、自由な言論を守り抜こうではありませんか。』

私は、各級議員の口から出る言葉は、実に重いものだと考えております。その場限りの言い訳や、良く見られたいばかりの発言や書き物を見ると、何のためにそう言わなければならないのと思う事があります。

ところで、人を勇気づける言葉の力をしみじみと感じた歌と詩を記します。

それは、中島みゆきの「糸」です。

『なぜめぐり逢うのかを 私たちは なにも知らない いつめぐり逢うのかを 私たちは いつも知らない どこにいたの 生きてきたの 遠い空の下 ふたつの物語 縦の糸はあなた 横の糸は私 織りなす布は いつか誰かを 暖めうるかもしれない なぜ生きてゆくのかを 迷った日の跡の ささくれ 夢追いかけ走って ころんだ日の跡の ささくれ こんな糸がなんになる許なくて ふるえて風の中 縦の糸はあなた 横の糸は私 織りなす布は いつか誰かの 傷をかばうかもしれない 縦の糸はあなた 横の糸は私 逢うべき糸に 出逢えることを人は 仕合わせと呼びます。』

人と人の出会いの不思議さ、大事さ、その後の家族について、しみりと思いを馳せる内容に、今まっています。

どんなご相談でも…

藤井たかし事務所

〒178-0065 練馬区西大泉 3-29-20

Tel : 5905-0533 Tel・Fax : 5947-3330